

## 研究室紹介「藤井研究室」

藤井研究室、別名「陸水物理学・水圏環境科学研究室」は、昨年第1期生4名が卒業し、現在、学部生4名のまだまだ、新しい研究室です。名前の通り、水環境に関係するあらゆる所にテーマを求め、日夜、山・川・湖沼・貯水池・海などフィールドに飛び出して行っています。水は、こんなにありふれたものでもありませんが、不思議なものでもあり、われわれの生活に密接に関わりある水に関しての問題はたくさん存在し、物理学・化学・生物学あるいは工学などの知識や手法を用いて学際的な研究を行っています。



研究室の方針は、「青白きインテリ」はダメで、フィールドに出て自分でデータを取得することが最も重要(フィールド重視)、ただし、調査は一人ではできないので、教員も含め研究室が一致団結してチームワークを大切にしています。興味ある人は、研究室に遊びに来てください。研究室の紹介はホームページでも行っていますので一度アクセスしてみてください。

藤井研究室HP <http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~fujiji/>

記事：藤井智康 (理科教育講座助教)

## クラブ紹介「男子バレーボール部」

こんにちは!! 男子バレーボール部です(^▽^)/私たちは毎年8月に行われる「全国教育学芸大学男子バレーボール大会」に参加しています。参加校は少ないですが、試合はもちろんレセプションなどを通して他大学と交流できる楽しい大会で、毎年楽しみにしています。その大会が今年は奈良で開催されます☆ その大会に向けて、一生懸命練習、準備をしています。大学の体育館で行われるので、時間があればぜひ見に来てください!!



また、部員・マネージャー大募集中です!!火曜、木曜の放課後と土曜、日曜は体育館で練習しているので見に来てください♪



日時 平成18年8月4日(金)～8月6日(日) 9:30～

場所 奈良教育大学体育館

参加校 愛知教育大学・大阪教育大学・京都教育大学・奈良教育大学

記事：三浦 尚子 (男子バレーボール部マネージャー)

## 学生企画活動支援事業

平成18年6月7日(水)に学生企画活動支援事業のプレゼンテーションが行われ、13団体が参加しました。参加団体はプレゼンテーションでは様々な趣向を凝らして競い合いました。



また、今年度より審査員には教職員の他、自治会、体育会、文化会、大学祭実行委員会及び新聞会(現 報道会)の代表者が加わり、細部にわたった審査が行われました。審査の結果9団体が採択されました。採択されなかった4団体についても、活動内容の有意義さが評価され、一定のサポートが行われることとなりました。

### 採択事業

- 期間限定・ぶんぱく ～文化財博物館～
- 学生オペラ「奈良の特色をおりこんで～奈ペラ～」
- 地域の児童・生徒・保護者を対象とした「造形ひろば」
- 第2回 京終☆ビバ!!
- えほんのひろば 1周年おめでとうイベント
- あ～らよ!! 出前実験 奈良教育大学本店
- 楽器ふれあいコンサート
- 演劇の世界を体感しよう
- 障害のある子どもと家族のウィンタースポーツ教室  
～ファミリーサポートを目指して～

### 認定事業

- どうする? 小学校の英語活動!!  
～現場体験をもとに作り出す新たな活動～
- 自然環境教育センター奈良実習園における  
休耕田の生物種の遷移に関する研究
- わかる“IT” ～基礎からのITトレーニング～
- 第2回ヘルス&フィットネス

### 学生企画活動支援事業とは

本事業は、学生が自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、優れた教員等の養成に資することを目的としたもので、平成16年度から実施しています。

## 日本留学事情

本学在学中の留学生に日常生活で感じたことを書いていただきました。

### 文化交流を通じた高校生との触れ合い

崔 允禎(韓国)

6月16日金曜日、田淵先生の紹介で、韓国、中国、キルギス、タイの留学生6人と一緒に奈良県立法隆寺国際高等学校を訪問した。世界遺産についての交流会があったからだ。日本の高校生と直接会って話し合うのは初めてだったので、ときどききいていた。



奈良県立法隆寺国際高等学校では、1年生の時から奈良、奈良万葉、世界遺産学など、歴史文化を専門的に教わっている。今日は「世界遺産学」の授業の一環として、歴史文化コースの3年生約40人が参加した。交流会は韓国、中国、キルギス・タイの、国別に三つのグループに分かれて約2時間ほど行われた。和気あいあいのうちに留学生、生徒両方とも少し恥ずかしがりながら質問したり、答えたりした。世界遺産の話だけでなく、日本と韓国の高校生の生活についても話した。

韓国の高校3年生というと、受験勉強で毎日が地獄のように十数時間を学校で勉強していて、いつも疲れている顔が浮かぶ。だが、日本の高校3年生は、勉強はもちろん、学祭にも一番積極的に参加しながら、高校の生活の中で一番楽しい時を過ごしていた。みんな生きているような、明るい顔をしていた。

グループ別の交流会が終わってからは、何人の生徒たちと親しくなって、学校を見回りながら、紹介してもらった。そして、一緒に弁当を食べながら、最近の高校生の関心分野について色々話した。校内を歩き回っていると、生徒たちは私達に親切に挨拶をしてくれ、先生といたずらしながら歩いている生徒も見られた。先生と生徒達の距離がすごく短く感じられた。私も去年、教育実習で韓国の男子高校で1ヶ月間日本語を教えたことがあるが、韓国の高校生も日本の高校生も、国は違っても、関心分野やその純粋さなどは同じだと思った。そして、私は韓国の世界遺産について調べながら、自文化について少し分かるようになった。そして、韓国、日本そして他のアジア地域にも優れた文化があることを話し合いながら、一歩ずつその国に近寄っていくような気がした。今回の交流会を通じて生徒たちが日本だけでなく、アジアへと、視野を広げて、もっと大きな夢を抱く、いい機会、いい思い出になってほしい。

天平雲では、次号以降も、クラブ、研究室を紹介していきます。つきましては、うちのクラブは、こんなに楽しい。私の研究室は、こんなに頑張っている等の記事を募集します。希望される方は、学生支援課まで申し出てください。